

映画学科(脚本領域) 教員募集

| | |
|--------|--|
| 募集学科 | 芸術学部 映画学科 |
| 職位及び人員 | 准教授または専任講師 1名 |
| 専門分野 | 脚本領域 |
| 授業科目 | 脚本研究など |
| 勤務地 | 瓜生山キャンパス(京都市左京区) |
| 応募資格 | 1) 脚本領域での仕事上の実績や経験があり、専門知識と技術を有し、脚本研究の授業の担当ができること 2) 映画制作全般の知識や経験があり、映画制作の指導もできることが望ましい。 3) 大学等の教育機関における教育実績があること 4) 修士以上の学位を有すること、もしくはそれと同等の業績があること 5) 学科の教育方針を理解し、実践的指導力をもって学科運営および学生指導に携われること 6) 学部教育方針を理解し、学生の進路・就職指導に責任を持ち、かつ社会の状況をもとに具体的な指導ができること 7) 通勤圏内に居住し、本学勤務に専念できること 8) 本学の理念『京都文藝復興』に賛同していただけること |
| 採用予定 | 2021年4月1日 |
| 任用期間 | 年度毎の契約、年4回まで更新する場合がある※任期を付さない専任教員へ実績あり |
| 処遇 | 本学規程による |
| 提出書類 | ①履歴書(写真貼付、連絡用のメールアドレス・電話番号明記のこと、様式1)※ ②過去5年間の研究・業務実績、活動歴(様式2)※ ③主要論文あるいはその抜刷(コピー可)(5件以内)、または作品ポートフォリオ(1冊) ④「芸術大学における映画教育の可能性」について、800~1200字程度レポート(A4判用紙、書式自由) ⑤返信用封筒(定型、宛名明記、84円切手貼付のこと) ※応募書類は原則として返却いたしませんので、ご了承ください |
| 提出期限 | 10月22日(木) 17:00 必着 ※ご応募の前に、本学HP内の「本学の理念」より『京都文藝復興』、『藝術立国』、『まだ見ぬわかものたちへ』、『通信による芸術教育の開学にあたって』を必ずご一読ください。 |
| 選考方法 | 第一次 書類選考 第二次 面接、模擬授業(一次通過者のみ実施) 第三次 最終面接 ※第二次選考は京都瓜生山キャンパスにて11月10日(火)を予定しております。 新型コロナウイルス感染症への対応のため、上記の内容については変更の可能性があります。 本サイトを適宜ご確認ください |
| 書類提出先 | 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学 総務課採用係まで郵送 ※封筒の表面に「映画学科(脚本領域)教員応募書類在中」と朱書きしてください。 |

※問い合わせは電話 075-791-8301 または e-mail: saiyo@office.kyoto-art.ac.jp まで

◆本学のこれまでの歩みと、現状の学問領域、大学30周年を契機として策定した将来構想「グランドデザイン2030」を踏まえて、その教育内容や活動に相応しい名称として、2020年4月1日に、学校法人瓜生山学園「京都造形芸術大学」から名称を変更いたしました。